



総務省

Ministry of Internal Affairs
and Communications

地域人材ネット

米粉を軸とした地域食材の活用による観光まちづくりの推進

守屋 邦彦 (もりや くにひこ)

公益財団法人日本交通公社 観光政策研究部 上席主任研究員



○ 登録者情報

所在地

東京都港区

略歴

東京都出身。技術士(建設部門・都市及び地方計画)。
1999年 東京工業大学情報理工学研究科修了(情報環境学専攻)
1999年 (株)三菱総合研究所入社
2006年 (財)日本交通公社入社
2007～08年 北海道釧路市／地域再生マネージャー
2010年 岐阜県本巣市／短期診断の実施
2011年 新潟県胎内市／新・地域再生マネージャー事業の実施
2018年 新潟県胎内市／観光振興ビジョン改訂のためのコンサルティング事業の実施
2019年 上席主任研究員

○ 米粉を軸とした地域食材の活用による観光まちづくりの推進

取組の内容

新潟県胎内市は、全国で初めて米粉専用の製粉工場ができたいわば「米粉発祥の地」ですが、これまで「米粉発祥の地」としてのイメージを醸成、発信し同市のブランド力向上に繋げるような効果的な取組は行われてきませんでした。

そこで、飲食店や菓子店、観光事業者から行政職員、主婦、農家まで幅広い主体が参加し、従来の行政の会議とは異なる楽しい雰囲気の中で米粉について話し合える場として「たいない『食』のわいわい会議」を設置し、調理室でわいわい、がやがや、米粉料理の試作、試食を繰り返し、胎内市の新しいご当地グルメとして「べえべえ」を誕生させました。

その後、レストランからスナック、回転寿司チェーンなど、多様な業態の飲食店で様々な「べえべえ」が提供されました。また、2011年には市内外の米粉グルメが一堂に会したご当地グルメイベント「米粉フェスタinたいない」を開催するなど、米粉を活用したまちづくりを着実に展開しています。

上記の取組は2009年に策定された「第1次観光振興ビジョン」に基づき推進されました。こうした成果を踏まえて2018年には同ビジョンを「第2次観光振興ビジョン」として改訂、現在、更なる観光振興への取組が進められています。

実績

- 米粉グルメの市内飲食店での展開：市内23店舗を米粉グルメ提供店（うち「べえべえ」提供店5店）として食べ歩きMAPに掲載
- 市民主体で運営する、「べえべえ」をはじめ米粉料理を提供する飲食店「米粉かふえ」をオープン
- 市内外の米粉グルメが一堂に会したご当地グルメイベント「米粉フェスタinたいない」に2,000人以上の集客

工夫した点や苦労した点

机上で議論するだけでなく、試作やイベントでの実験販売など実際の行動を多くし、地域の皆さんのやる気を高めていきました。一方で、一般市民の方々と事業者（飲食店）の方々では意識や活動できる時間帯なども異なるため、一体的な取り組みを進めることには苦労しています。

ひとことPR

観光まちづくりを進めるためには、地域の方々の主体的な取り組みと、外部の人間のサポートやコーディネートがうまくかみ合うことが重要です。地域が観光によって元気になるための取り組みを、地域の方々と一緒に進めていければと思います。

○ 参考

取組の分類

地域人材ネットでは、登録者の取組を11の政策分野に分類しています（複数の分野に該当するものもあります）。

	1	地域経営改革		7	まちなか再生
○	2	地場産品発掘・ブランド化		8	若者自立支援
	3	少子化対策		9	安心・安全なまちづくり
	4	企業立地促進		10	環境保全
	5	定住促進		11	その他
○	6	観光振興・交流			

関連ホームページ

公益財団法人日本交通公社	http://www.jtb.or.jp/

連絡先

メールアドレス	morija〔アットマーク〕jtb.or.jp	その他	
---------	-------------------------	-----	--

※メールを送る際には〔アットマーク〕を『@』に変えてください。